



2013年1月25日(金)～

2月7日(木)の活動

○ 新春経済懇談会

1月29日(火) 金沢市

新春経済懇談会を開催し、中部経済産業局の木村局長をはじめ来賓8名を迎え、会員約160名が出席した。

懇談会に先立ち、北経連の「平成25年度事業活動方針」について記者会見が行われた。永原会長は、平成25年度は、引き続き災害に強い国づくり、円高や産業の空洞化に対応した地域産業の競争力強化の観点から、「北陸新幹線の敦賀延伸の早期実現と大阪までのフル規格による全線整備」、「首都圏における北陸来訪の促進活動」などに注力するとの方針を示した。

懇談会においては、日本銀行金沢支店の北原道夫支店長が、「最近の金融経済動向」と題して講演し、「我が国の経済は弱めに推移し当面は続くと思っているが、その後は、海外需要の不調から徐々に抜け出し明るさを取り戻していく構図を描いている」と述べられた。

その後、新年祝賀会が開催された。

(担当:大嶋)

○ 北陸フォーラム

2月4日(月) 東京都内

北経連と北陸電力は、富山県・石川県・福井県・中小企業基盤整備機構の後援、北陸銀行・北國銀行・福井銀行の協賛のもと、東京のホテルニューオータニに於いて「北陸フォーラム 2013」を開催した。永原会長をはじめ、大嶋副会長、深山副会長、小田広域観光推進委員長、水口先端技術推進委員長ほか北経連役員、3県関係者や首都圏各企業の幹部、観光関係者など、講演会に約1100名、懇談会に約1500名が参加した。

講演会では、外交ジャーナリストの手嶋龍一氏が「東アジアのなかのニッポン、そして北陸の近未来」と題して講演されたほか、北陸地域の立地環境PRビデオを放映した。

懇親会では、甘海老・カニ・ブリなどの日本海の幸や、北陸の地酒などを味わっていただいたほか、越中八尾おわら保存会による実演もあり、皆さんは北陸の「食」と「文化」を堪能され、会場内は終始賑わいを見せた。

そのほか、PR展示コーナーでは、北陸の企業立地環境や観光のPRや、各県の特産品の販売などが行われた。

(担当:小林)

○ 北陸3港(伏木富山港・金沢港・敦賀港)利用促進セミナーin東京

2月4日(月) 東京都内

北陸3港の地理的利便性や太平洋側港湾の代替基地としての役割を首都圏の港湾関係者にアピールすることを目的に、国交省北陸地方整備局、北陸三県との共催で「北陸3港利用促進セミナーin東京」を開催した。本セミナーは今年で3回目。首都圏の物流、荷主、船社など港湾関係者約200名が参加した。

セミナーでは、東北学院大学の柳井雅也教授が「東アジア時代における北陸港湾の位置付け・役割と活用」と題して講演し、日本海物流の拡大、リダンダンシーの観点から北陸3港が連携し一体的利活用を推進すべきと指摘された。続いて、北陸地方整備局の松原裕次長が「環日本海物流を担う北陸港湾の利便性向上に向けて」と題して講演された。

その後、三県港湾担当者が3港の特色や助成制度などについてPRを行った。(担当:白又)

お知らせ

○ 「高信頼システム情報交換会・北陸」の開催

3月6日(水) 14:00～15:50 福井県織協ビル

(株)NTTドコモの廣兼 実俊 北陸支社長を講師に迎え、「スマートフォン・タブレット端末をねぐる最新動向」をテーマに、機器、コンテンツ、通信環境などの最新動向と、ビジネス用途を中心とした効果的な活用のあり方について講演する。

詳細は、<http://www.hokkeiren.gr.jp/STC/>を参照
[お問合せ先] TEL:076-265-8656 ※参加費無料
北陸経済連合会イノベーション推進事業部(岩田)

○ 「イノベーション実用化ベンチャー支援事業」公募

NEDOでは、イノベーション創出のための基盤を強化し、成長による富の創出の実現に資する新規性・革新性の高い、企業の実用化開発に対して支援を行う。(1件1千万円～5億円;助成率2/3以内)公募期限は3月21日(木)。2月25日(月)13:30～金沢勤労者プラザで説明会を開催。

詳細は<http://www.nedo.go.jp/>を参照
TEL:044-520-5175 (NEDO技術開発推進部)

○ 「中国経済に関する講演会」の開催

3月1日(金) 10:30～12:00 金沢新神田合同庁舎

北陸財務局では、「中国経済の現状と課題について」と題し、財務省財務総合政策研究所 田中次長による講演会を開催する。※定員100名

[お問合せ先] TEL:076-292-7966
北陸財務局財務広報相談官(林、松浦)

